堤駿斗さん（ボクシング）

平成29年度全国高等学校総合体育大会

福島県あいづ総合体育館
2017年8月8日（水）9日（木）

昨年はフライ級で優勝したインターハイ。バンタム級の今年も、目指すは優勝のみ！

堤さんは習志野高校3年生。昨年のインターハイはフライ級（49級超52kgまで）で優勝し、今年はバンタム級（52kg超56kgまで）で2連覇を目指す。

シード権を得て2回戦からトーナメント参戦した堤さんは、3回戦、準決勝とも順調に勝ち進んだ。8月8日（水）準決勝の応援に、福島県の会場へと向かった。

バンタム級の試合が始まり、地元高校生の先導で堤さんが登場してきた。4月に制服姿で会った時とは別人の精悍な眼差し。見間違えてしまうくらいだ。

ゴングが鳴ると、堤さんのパンチがシャープに伸びて相手を追い詰めているよう。相手が攻めあぐねた瞬間を見逃さずパンチを決める！

3ラウンドを終了して堤さんが勝利！試合終了後にお話を伺うと、「動作が大きくなったり自分のボクシングができないところがあった」そうだが、これで決勝へ進出だ。おめでとうございます！

●ボクシングルール●
インターハイは3ラウンド(1ラウンド2分)。トーナメント方式で行い、優勝、準優勝及び3位(2名)を決定

決勝戦の相手は昨年と同じ選手。
堂々の試合で2連覇を達成、おめでとうございます！

翌日の決勝の相手は昨年フライ級で優勝を争った松本選手。ふたりとも階級を上げてこの場での再対決となったのだ。

緊張の決勝戦だが、入場してくる堤さんには笑顔が見えた。リラックスできているようでひと安心だ。

試合が始まるとふたりとも動きがスムーズで、ムダが削ぎ落とされてるよう。一瞬も隙を見せられない、そんな緊張感が漂う好試合だ。ふたりの応酬に、堤さんの赤コーナーからは「駿斗オッケー！」「しっかり！」と声援が入り、堤さんは聞こえているような表情を時折見せている。打たれてもガード硬く、一打一打相手を攻めていく堤さん。

3ラウンドが終わって、アナウンスが告げたチャンピオンの名は堤さん！ホッとした表情で会場に挨拶してくれた。

応援のお父さんによると、先月から続いた大会の疲労が抜けず、勝ち進んだインターハイでも連日の試合で昨日はバテていたとのこと。しかし、決勝の今朝はしっかり食べて試合に臨めたらしい。ハートが強い！

マスコミに囲まれて自分の気落ちをきちんと答える堤さんは、すっかりチャンピオンの風格だ。インターハイ2連覇おめでとうございます！

決勝戦は自分のボクシングができて優勝できました。これからも応援よろしくお願いします！

結果

バンタム級 決勝 — あいづ総合体育館 08月10日

堤　駿斗 習志野(千葉)	○	判定	松本　圭佑 みなと総合(神奈川)

バンタム級 準決勝 — あいづ総合体育館 08月09日

堤　駿斗 習志野(千葉)	○	判定	宍山　隼輔 西宮香風(兵庫)

バンタム級 準々決勝 — あいづ総合体育館 08月08日

堤　駿斗 習志野(千葉)	○	RSC 2回 2分0秒	吉田　黎斗 伊勢崎工(群馬)

バンタム級 3回戦 — あいづ総合体育館 08月07日

堤　駿斗 習志野(千葉)	○	判定	松井　斗輝 関西(岡山)

バンタム級 2回戦 — あいづ総合体育館 08月06日

堤　駿斗 習志野(千葉)	○	RSC 1回 1分40秒	佐々木　宗徒 黒沢尻工(岩手)